

令和元年7月18日

各関係大学長・学部長・研究科長 殿

各関係研究所長 殿

各関係病院長・薬剤部長 殿

東邦大学薬学部長

田 中 芳 夫

(印影印刷)



教員の公募について（依頼）

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、本学部では、教員を下記の要領で公募することとなりました。

つきましては、貴学（機関）関係者への周知ならびに適任者の推薦について、よろしくお取り計らいいただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 公募職種等 医療薬学教育センター病態生化学研究室 教授1名（大学院薬学研究科兼任）
2. 雇用形態等 専任（定年は65歳）
3. 着任予定日 令和2年4月1日
4. 担当教育内容
 - ①薬物治療学関連科目の講義（「薬物治療学」、「病態検査学」、「先端医療薬学」等）、演習、実習及び卒業研究の他、4年次のプレ実務実習Ⅱを分担していただきます。なお、必要に応じて、専門分野以外の科目を担当・分担いただく場合もあります。薬物治療学関連科目の講義、演習、実習については、現在、病態生化学研究室、薬物治療学研究室および臨床薬効解析学研究室で担当していますが、令和4年度より病態生化学研究室と薬物治療学研究室の2研究室で分担することになります。
 - ②専門分野に関わる大学院修士課程・博士課程の講義、演習及び実習（研究指導）
5. 応募資格
 - ①薬物治療を指向した病態生化学関連領域での研究実績を持ち、博士の学位を有すること。
なお、薬剤師免許を有することが望ましい。
 - ②薬物治療学領域全般にわたり基礎から応用までの幅広い教育を行えること。
 - ③医療系学部での教育経験を有すること。なお、実務の経験を有することが望ましい。

※応募に際し、本学ホームページ掲載のシラバスにて、担当教育科目の授業内容等をご参照ください。

(学部：http://www.toho-u.ac.jp/syllabus/phar/TOHO_CD_2019/index.html、
大学院：https://www.toho-u.ac.jp/phar/graduate/curriculum/syllabus_phargrad.html)。
また、日本薬学会ホームページにて、「改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム」等も併せてご参照ください。

6. 提出書類

「病態生化学研究室教授応募書類」と朱書し、簡易書留郵便で下記の書類を送付のこと。

- | | |
|---|-----|
| ①履歴書（所定様式、本学ホームページよりダウンロードしてください。） | 1 通 |
| https://www.toho-u.ac.jp/phar/saiyo/index.html | |
| ②業績目録（原著論文、総説、著書、過去5年間のシンポジウム及び招待講演等） | 1 通 |
| ③主要論文（原著論文10編以内）の別刷 | 各1部 |
| *別刷のPDF等を保存した電子媒体も併せてご提出ください。 | |
| ④教育・研究業績の概要と薬学教育・研究への抱負（A4判用紙4枚以内） | 1 部 |
| ⑤外部研究費取得状況（過去5年間） | 1 部 |
| ⑥その他：推薦状を提出する場合は2通以内 | |

なお、ご提出いただいた書類は、本学において個人情報等に十分留意の上、処理させていただくこととし、一切返却はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

7. 提出期限 令和元年9月30日（月）午後5時（必着）

8. 提出先・問い合わせ先

〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1

東邦大学薬学部長 田中 芳夫 宛

電話：047-472-1191、FAX：047-472-1188

E-mail：phar.dean@jim.toho-u.ac.jp

9. その他

病態生化学研究室の構成員は2名を予定しています。現在、病態生化学研究室には准教授1名が在籍しています。

選考過程において、プレゼンテーション、面接等をお願いする場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

以上